

ITUAJより

編集後記

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットが掲げられ、開発途上国に対する開発支援、エネルギーや経済成長といった話、そして、気候変動など地球全体の包括的なテーマ等から構成されています。

世界中が動いているSDGsについて、本誌では2回にわたって特集でお送りします。1回目の今号は、我が国の取組みを外務省、Society 5.0の実現を通じたSDGsの達成を経団連、SDGsのためのICTをITUからご寄稿いただきました。次号では、我が国の民間企業の取組みをお伝えします。是非ご一読下さい。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	白江 久純	総務省 国際戦略局
〃	高木 世紀	総務省 国際戦略局
〃	三浦 崇英	総務省 国際戦略局
〃	網野 尚子	総務省 総合通信基盤局
〃	成瀬 由紀	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	熊丸 和宏	日本放送協会
〃	山口 淳郎	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	側島 啓史	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	東芝インフラシステムズ株式会社
〃	辻 弘美	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	金子 麻衣	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	杉林 聖	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

美術鑑賞のルール

KDDI株式会社

なかやま さとみ
中山 智美



最近読んだ西洋美術の鑑賞方法について書かれた書籍によると、日本人は西洋美術（絵画）を鑑賞する場合、筆使いがすばらしいとか色の重ね方が繊細である等、情緒的な感性で美術品を語ろうとし、それはそれで楽しみ方のひとつのスタイルではあるものの、欧米のエスタブリッシュメントを中心とした西洋人は、美術は「見るもの」というより、美術品に込められたそれぞれの時代の政治・宗教・風習・価値観等、ある一定の目的が込められたメッセージを「読むもの」という概念があり、日本と西洋では美術の成り立ちとアプローチが違うため、西洋美術史の知識なしに西洋の美術品を鑑賞することは、わからない外国語の映画を字幕なしに見るようなもの、と著者は語っています。

スポーツやゲームの世界ならばルールの理解や共有が必須であることは容易にわかりますが、美術・芸術の分野であっても世界の多様な文化的背景を持つ人々と価値や楽しみを分かち合うためには、決まり事の理解や共有が大切だということがわかりました。

西洋美術の原点、ギリシャ・ローマ時代から遙かな時を超えた現代では、各種技術の発明や発達により、ベルサイユ宮殿やシェンブルン宮殿に飾られた肖像画のモデルとなった王族ですら体験できなかったような快適な生活を、私たちの多くは当たり前のように享受できるようになりました。先進国のみならず開発途上国の人々のための便利で快適な社会の基盤となるICT技術の動向は、かつての通信関連業界に閉じることなく今や世界中の産業界に影響を与えています。

ICT技術やサービスの多様化等、ICT利活用が高度で複雑になるほど、技術やサービスの標準化・ルール作りの重要度も増すものと思いますが、より多くの人がICT利活用で生まれる恵恩にあずかれるよう、ITUジャーナルでは様々な分野での標準化動向や業界の取組みの紹介がその一助となるような誌面作りを心掛けていきたいと思っています。

ITUジャーナル

Vol.48 No.8 平成30年8月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 福岡 徹

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610 (代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイティブ・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会